

KAIUN

総合物流情報誌

海運

2022.4

2023.3



©Golden Sikorka/Shutterstock.com

2022年4月号～2023年3月号

バックナンバー集

2022年 創刊100周年

100年を超えてご愛読いただいております

業務に役立つ情報誌

海運、造船、海上保険、マーケット、内航など幅広く網羅

一般社団法人 日本海運集会所

2022年
No.1135

4月号



COVER
©akiyoko/Shutterstock.
com

特集

日本造船業、次なる成長へ

インタビュー

複数の船種・船型を揃え
需要変動への耐性を強化する

●株式会社名村造船所 代表取締役社長 名村 建介氏

新燃料への転換ニーズに対応し
評価される船づくりを続けたい

●ジャパン マリンユナイテッド株式会社 代表取締役社長 千葉 光太郎氏

造船・エンジニアリングの両輪で
新たな事業モデルを開拓していく

●三菱造船株式会社 代表取締役社長 北村 徹氏

認証を核とするサービスを通じ
日本の競争力確保に貢献したい

●一般財団法人日本海事協会 会長 坂下 広朗氏

日本船主協会・環境広報タスクフォース 座談会

“2050年 GHG ネットゼロへの挑戦”の真意

風に向かって先頭を走る気概を

●日本船主協会・環境広報タスクフォース座長 島 裕子氏
(株式会社商船三井 理事 環境・サステナビリティ戦略部担当執行役員補佐)

●日本船主協会・環境広報タスクフォース副座長／GHG タスクフォース座長 高橋 正裕氏
(日本郵船株式会社 執行役員)

●日本船主協会・環境広報タスクフォース副座長 岩佐 久美子氏
(川崎汽船株式会社 経営企画グループ担当部長)

特別企画

グラフィア

インタビュー

東京港～津松阪港間で無人運航船の実証実験に成功

●DFFAS コンソーシアム

重要性が高まる船舶通信 将来の「VDES」運用に期待

●東京海洋大学 理事・副学長(学生支援・広報担当) 庄司 るり氏

2022年
No.1136

5月号



COVER
©Zahnoi Alex/
Shutterstock.com

特集

—2022年—

どうなるドライバルク市況

インタビュー

各船種の事業基盤を底上げしつつ環境対応も着実に前進させる

●日本郵船株式会社 常務執行役員 鹿島 伸浩氏 (ドライバルク事業本部長)

多様化する顧客ニーズに複数の選択肢をもって備える

●株式会社商船三井 専務執行役員 篠田 敏暢氏 (ドライバルク営業本部長)

伸びる可能性がある分野に対し経営資源を積極的に投入する

●川崎汽船株式会社 代表取締役副社長 浅野 敦男氏 (ドライバルク事業ユニット統括)

お客様や船主と連携しながら環境対応を前に進めていきたい

●NS ユナイテッド海運株式会社 執行役員 金光 潔氏 (鉄鋼原料グループ担当)

引き締まりが続く船腹需給がチャーターレートを下支え

●ジャパンシッピングサービス株式会社 Head of Project, Newbuilding and Finance 藤井 一郎氏

特別企画

インタビュー

柴田明夫氏に聞く

ウクライナ侵攻が及ぼす市場へのインパクト

●株式会社資源・食糧問題研究所 代表取締役 柴田 明夫氏

巻頭インタビュー

水素事業やデジタル化に注力

他社との連携が必要となる

●川崎重工業株式会社 常務執行役員
エネルギーソリューション&マリンカンパニーバイスプレジデント 兼 船舶海洋ディビジョン長
今村 圭吾氏

新連載

Q&A 方式で知る 2050年 GHG ネットゼロ No.1

●日本船主協会

グラフィア

液化水素輸送実証で完遂式 岸田首相も駆けつけ祝辞

●HySTRA

グラフィア

世界初のEVタンカー「あさひ」が竣工

●e5ラボ、旭タンカー

グラフィア

4年ぶりの Sea Japan 開催 テーマは“ゼロとデジタル”



COVER
©Audio und werbung/
Shutterstock.com

特集	水素社会の中の海事産業	11
	インタビュー	
	水素社会で広く使われる製品をいち早く供給していきたい	12
	●川崎重工業株式会社 水素戦略本部 プロジェクト総括部 総括部長 新道 憲二郎 氏	
	SPERA 水素™ の利点を活用した輸送・貯蔵の導入モデルで商用化へ	16
	●千代田化工建設株式会社 水素事業部	
	部長代行 鍛冶 尚弘 氏	
	事業開発セクション セクションリーダー代行 黒崎 大輔 氏	
	渉外・広報・業務セクション 五十嵐 亮 氏	
	水素流通・供給の仕組みを港湾から社会へ広げていきたい	20
	●株式会社三井 E&S マシナリー	
	運搬機システム事業部 企画管理部 戦略企画グループ長 市村 欣也 氏	
	新事業推進部 マーケティング室 営業グループ グループ長 田崎 泰博 氏	
	解説	
	加速する水素社会への取り組みに海事産業はどう貢献できるか	24
特別企画	データで見る海運・造船決算2021	28
	海運 ドライやコンテナの好市況で11社中10社が増収増益に	28
	造船 各社で業績の改善が目立つが鋼材価格高騰などの不安要素も	36
	ONE 大幅な増収増益を示すものの業績を見通しにくい状況が続く	38
クローズアップ	「モーリシャスプレシヤスクルーズ」を12月に実施	8
	●商船三井、商船三井客船	
インタビュー	海事産業のサイバーセキュリティ対策	40
	今できる対策を始めることでサイバーリスクを低減する	
	●一般財団法人日本海事協会 事業開発本部 海技部 部長 斎藤 直樹 氏	
連載	Q&A方式で知る2050年GHGネットゼロ No.2	48
	●日本船主協会	



COVER
©Tawansak/Shutterstock.
com

特集	—“外の視点”から形づくる2050年— 続々・海事産業の未来予想	27
	アバター	
	アバターが人を制約から解放する	30
	●事例紹介 Honda、avatarin、慶應義塾大学	
	●インタビュー avatarin 株式会社 深堀 昂 CEO	
	モビリティ	
	モビリティから新たな価値創造へ	36
	●事例紹介 SkyDrive、KDDI	
	●インタビュー 一般社団法人ヤマトグループ総合研究所	
	木川 真理 理事長 (ヤマトホールディングス株式会社 特別顧問)	
	荒木 勉 専務理事 (上智大学 名誉教授)	
	ウェルビーイング	
	ウェアラブルデバイスで健康管理	42
	●事例紹介 OURA、Mojo Vision	
	●インタビュー 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED)	
	医療機器・ヘルスケアプロジェクト 妙中 義之 プログラムディレクター	
	ヘルスケア研究開発課 鈴木 友理子 課長	
	ネガティブエミッション	
	材料や設備で大気汚染物質を回収	48
	●事例紹介 三菱ケミカル、日立造船	
	●インタビュー 九州大学 ネガティブエミッションテクノロジー研究センター 藤川 茂紀 センター長	
特別企画	液化CO2船 実現のシナリオ	60
	インタビュー	
	LCO2の海上輸送を軸として	64
	CCS・CCUS全般に携わりたい	
	●株式会社商船三井 エネルギー営業本部 タンカー・オフショア事業群 第二ユニット	
	ユニット長 荒川 裕 氏	
	副ユニット長 沼野 正載 氏	
	CO2関連ソリューションをまとめて	68
	お客様に提案できるのが強み	
	●三菱造船株式会社 事業戦略推進室 海洋脱炭素グループ グループ長 田中 太一 氏	
	(三菱重工業株式会社 成長推進室 主席部員兼務)	

グラビア	670TEU型コンテナ船「のがみ」が就航 —環境性能と練習船機能を備えた最新鋭船 ●井本商運	10
連載	Q&A方式で知る2050年GHGネットゼロ No.3 ●日本船主協会	58

2022年
No.1139

8月号



COVER
©Unkas Photo/
Shutterstock.com

特集	商社船舶部門が語る市況観と事業観	13
	インタビュー パートナーシップの深化によって 日本の海事産業に貢献したい ●三井物産株式会社 モビリティ第二本部 輸送機械第一部長 濱田 昭仁 氏	14
	船舶事業で培った機能を融合し 海運業界に変化を生み出していく ●三菱商事株式会社 船舶・宇宙航空機本部 船舶部長 岡 隆文 氏	18
	既存の船舶事業を着実に運営しつつ 無人運航などの新規開拓も見据える ●丸紅株式会社 航空・船舶本部 船舶部長 長谷 隆行 氏 船舶プロジェクト事業部長 三宅 康智 氏	22
	子会社に船舶トレードを集約し 本体で新規環境事業の開発に注力 ●住友商事株式会社 リース・船舶・航空宇宙事業本部 船舶事業部長 豊田 高德 氏	26
特別企画	インタビュー 国際環境経済研究所の山本所長に聞く 欧州の“脱ロシア”戦略と天然ガス・LNG情勢 ●特定非営利活動法人 国際環境経済研究所 副理事長兼所長 山本 隆三 氏 (常葉大学 名誉教授)	34
造船首脳会見	リプレース需要を予想しながら 新船型開発に取り組みたい ●今治造船株式会社 代表取締役社長 檜垣 幸人 氏	8
この人に聞く、 この人が語る	就任・共同インタビュー 北星海運に来たのは運命、宿命、天命 ●北星海運株式会社 代表取締役社長 加藤 由起夫さん	30
連載	Q&A方式で知る2050年GHGネットゼロ No.4 ●日本船主協会	44

2022年
No.1140

9月号



COVER
©Yoshitaka / PIXTA (ピクスタ)

特集	内航船員の魅力向上策を考える	17
	インタビュー 船員を大切にしたいという思いを 伝える・伝わる環境をつくる ●井本商運株式会社 取締役 大橋 郁 氏	18
	新技術の活用や認知度の向上で 船員の使命感ややりがいを喚起 ●一般社団法人内航ミライ研究会 代表理事 浦山 秀大 氏 (株式会社雄和海運 代表取締役)	22
	働き方改革で船員の定着率向上へ 事業者は法令プラスαの取り組みを ●国土交通省海事局 船員政策課長 谷口 礼史 氏	26
	無人運航船で船員を夢ある職業に 次世代へのアピールが今後のカギ ●公益財団法人日本財団 常務理事 海野 光行 氏	30
特別企画	CVC運営の意義とポイント	41
	インタビュー 大企業のスタートアップ支援は“マインドセット”が不可欠 ●Z Venture Capital株式会社 代表取締役 堀 新一郎 氏	42
	海運業が好きだからこそCVCで新しい風を吹かせたい ●株式会社MOL PLUS 代表 阪本 拓也 氏	46
グラビア	「横浜うみ博」を3年ぶりにリアル開催 ●海洋都市横浜うみ協議会	8
連載	Q&A方式で知る2050年GHGネットゼロ No.5 ●日本船主協会	40



COVER
©MISTER DIN/
Shutterstock.com

特集	社会実装へ進む自動運航船	12
	インタビュー 船員のノウハウに基づく技術力が日本の強み ●国立大学法人東京海洋大学 学術研究院 教授 清水 悦郎 氏	14
	安全運航に向けて人間と機械の融合を追求 ●日本郵船株式会社 海務グループ グループ長 春名 克彦 氏	18
	独自色を備えた自律運航船を創り上げる ●株式会社商船三井 スマート SHIPPING 推進部 部長 藤井 仁 氏 ほか	22
	乗組員の負担を減らし安全運航をより強化 ●川崎汽船株式会社 先進技術グループ グループ長 亀山 真吾 氏	26
	実証事業などを通じ「止まらない船」を目指す ●BEMAC 株式会社 イノベーション本部 東京データラボ室長 中内 大介 氏 ほか	30
	日本の総合力を評価し日本発の社会実装を支援 ●一般財団法人日本海事協会 執行役員 技術研究所長 藤浪 幸仁 氏 ほか	34
	CNP 形成へ動き出す日本の港湾	40
	インタビュー 横浜・川崎の広域連携を通じ 次世代燃料の供給拠点をめざす ●横浜市港湾局政策調整部政策調整課 担当課長 中村 仁 氏	42
	水素利活用を方向性の一つに掲げ 官民連携し先駆的な取り組みを ●神戸市港湾局港湾計画課 課長 白波瀬 浩司 氏	46
グラビア	LNG 燃料フェリーが進水 ●三菱造船、商船三井、フェリーさんふらわあ	8
造船首脳会見	香焼工場の活用が成長戦略のカギに ●株式会社大島造船所	10
連載	Q&A 方式で知る 2050 年 GHG ネットゼロ No.6 (最終回) ●日本船主協会	54
寄稿	進化する「世界の交差点」パナマと日本 ●在パナマ日本国特命全権大使 福島 秀夫	56



COVER
©ID-VIDEO/Shutterstock.
com

特集	海上保険	17
	～基礎を押さえて変化に備える～ 寄稿	18
	再保険の仕組みと基礎知識 ●日本船主責任相互保険組合 企画部 広報チーム 宮廣 好一	22
	船主責任制限に係る実務対応 ●三井住友海上火災保険株式会社 グローバル損害サポート部 船舶グループ 松井 英之	26
	戦争リスクに備える船舶戦争保険 ●損害保険ジャパン株式会社 海上保険部 船舶保険グループ (執筆著：上村 一郎、武田 英、藤本 匠、七野 弘太郎、高橋 賢多郎)	30
	貨物保険証券のデジタル化と課題 ●東京海上日動火災保険株式会社 海上業務部 専門次長／ 株式会社トレードフルツ 取締役 (非常勤) 新谷 哲之介	40
	作業員輸送船 CTV は商機になり得るか	42
	インタビュー 欧州で得た知見を日本で活かす ●日本郵船株式会社 グリーンビジネスグループ グループ長 横山 勉 氏	46
	CTV を本業として取り組む ●東京汽船株式会社 取締役社長 齊藤 宏之 氏	10
グラビア	世界初の硬翼帆搭載船が竣工 ●商船三井、大島造船所	14
グラビア	SEP 船「BLUE WIND」が完成 23 年 3 月から国内洋上風車の施工を開始 ●清水建設	



COVER
©Avigator Fortuner/
Shutterstock.com

特集	コンテナ船 市場の趨勢と次の事業戦略	14
	インタビュー 22年以降需給はさらに軟化 ひっ迫感が薄れ運賃は下落傾向 ●拓殖大学 商学部 教授 松田 琢磨 氏 不透明な事業環境が続く中でも 高品質なサービス網を構築する ●Ocean Network Express Pte. Ltd. デジタル・脱炭素化への対応で 顧客との対話を深め信頼を得る ●オーシャン ネットワーク エクスプレス ジャパン株式会社 取締役 専務執行役員 戸田 潤 氏 アジア域内航路のサービスを拡充 市場シェア拡大を目指す ●エムエスシージャパン株式会社 日本社長 甲斐 督英 氏	16 20 24
特 別 企 画	導入直前、EEXI・CII ～新燃費規制の要点と対応～	41
	インタビュー EEXI・CIIの“次”も見据えて日本の海運業界を支援していく ●国土交通省 海事局 海洋・環境政策課 環境渉外室長 塩入 隆志 氏 運航効率をどう磨くかが腕の見せ所 ●株式会社商船三井 環境・サステナビリティ戦略部 部長 岩本 崇志 氏 同 環境戦略チーム チームエキスパート 米原 章浩 氏	42 46
J S E	第54回「住田海事賞三賞」が発表 学術的価値と実務的有用性の高い専門書3冊が受賞	12
J S E	日本海運集会所からの新刊紹介 2022年版「Outlook」が発売 日本郵船調査グループ	9



COVER
©oku20161225/
Shutterstock.com

特 集	海事産業・展望2023		31
	—海運・貨物市況と国際情勢を捉える—		
	寄稿		
	ドライバルク市場	●日本郵船株式会社 調査グループ グループ長 林 光一郎	32
	コンテナ船市場	●株式会社EF インターナショナル 代表取締役 中尾 治美	34
	原油タンカー市場	●株式会社商船三井 タンカー・オフショア事業群第一ユニット 原油船チームリーダー 宇佐美 健彦	36
	鉄鋼市場	●株式会社資源・食糧問題研究所 代表 柴田 明夫	38
	原油市場	●ENEOS総研株式会社 エネルギー経済調査部 副部長 日根 大輔	40
	外国為替市場	●住友商事グローバルリサーチ株式会社 経済部 シニアエコノミスト 鈴木 将之	42
	インタビュー		
特 別 企 画	米国経済	●株式会社大和総研 ニューヨークリサーチセンター 主任研究員 (NY駐在) 矢作 大祐 氏	44
	中国経済	●多摩大学 客員教授 結城 隆 氏	48
	アジア新興国経済	●みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社 調査部 アジア調査チーム 主席エコノミスト 対木 さおり 氏	52
	ウクライナ戦争	●東京大学 先進科学技術研究センター 専任講師 小泉 悠 氏	56
	インタビュー		70
	「東慶丸とギリシャ難民」続編		
	見つめたいのは浪漫ではなく史実		
	●東洋大学文学部史学科 教授 村田 奈々子 氏		
	課題解決には100人の有識者よりも1人の実践者		12
	●株式会社三菱総合研究所 理事長 小宮山 宏 氏		
巻頭インタビュー			
年 頭 所 感	●一般社団法人 日本船主協会 会長 池田 潤一郎 氏	21	
	●一般社団法人 日本造船工業会 会長 宮永 俊一 氏	22	
	●日本内航海運組合総連合会 会長 栗林 宏吉 氏	23	
J S E	日本海運集会所からの新刊紹介	24	
	「世界のコンテナ輸送と就航状況」2022年版を発行 日本郵船調査グループ		



COVER
©Iakiv Pekarskyi/
Shutterstock.com

特集	洋上風力発電 一導入拡大で進む足場固めー	13
	インタビュー	
	本格化に向けて着実に布石を打つ	14
	●川崎汽船株式会社 執行役員 金森 聡 氏 (LNG、カーボンニュートラル推進担当)	
	浮体のEPCI全体を手掛けていく	18
	●ジャパン マリンユナイテッド株式会社	
	営業本部 海洋・官公庁船営業部 部長 大川原 和宏 氏	
	商船・海洋・エンジニアリング事業本部 海洋・エンジニアリング事業部	
	海洋エンジニアリングプロジェクト部 部長 岩本 昌樹 氏	
	安定操業に向け審査に万全を期す	22
	●一般財団法人日本海事協会 事業開発本部 環境・再生可能エネルギー部	
	部長 赤星 貞夫 氏	
	国内浮体式のけん引役になる	26
	●日揮株式会社 プロジェクトソリューション本部 リニューアブルエネルギーソリューション部	
	部長 勝岡 洋一 氏	
	初の商業運転で成功例を示す	30
	●秋田洋上風力発電株式会社 代表取締役社長 岡垣 啓司 氏	
特別企画	サルベージの今を知る	37
	寄稿	
	海難の早期対応を目指して ～求められる営業力～	38
	●日本サルベージ株式会社 門司支店 サルベージ営業課 元井 省吾	
	外航貨物船座礁案件 ～二次災害を未然に防ぐ～	42
	●深田サルベージ建設株式会社 東京支社 サルベージ部 長谷川 和也	
巻頭インタビュー	電気運搬船と蓄電池でGDPの拡大に貢献したい	8
	●株式会社パワーエックス 取締役 代表執行役社長CEO 伊藤 正裕 氏	
短期連載	LOOK BACK KAIUN	48
	「創立満三十周年記念号」から振り返る集会所の当初30年①	



COVER
©Alvaro Ardisana/
Shutterstock.com

特集	エネルギー激動期のLNG輸送	9
	インタビュー	
	代替建造を含め積極的に投資	10
	世界に幅広いサービスを提供する	
	●日本郵船株式会社 LNGグループ グループ長 井浪 康之 氏	
	顧客の需要を見越した戦略と	14
	造船所との関係構築が今後のカギ	
	●株式会社商船三井 エネルギー営業本部 液化ガス事業群第一ユニット長 林 龍太 氏	
	高品質な船舶管理体制を維持し	18
	今後の事業拡大に備える	
	●川崎汽船株式会社 LNGグループ LNGグループ長 蔵本 輝紀 氏	
	欧州では24年以降も	22
	LNG需要が伸びていく	
	●独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構 (JOGMEC) エネルギー事業本部	
	調査部 調査課 担当調査役 (併) LNG情報チーム 担当調査役 白川 裕 氏	
	カタールやUAEが	26
	LNG供給の重要な担い手に	
	●和光大学 経済経営学部 教授 岩間 剛一 氏	
特別企画	フェリー旅、活性化へ	31
	インタビュー	
	船体設備とサービスの両面で	32
	カジュアルクルーズを具現化	
	●株式会社フェリーさんふらわあ 代表取締役社長 赤坂 光次郎 氏	
	行動制限の無い22年度実績が	36
	旅客戦略策定時の標準になる	
	●川崎近海汽船株式会社 常務取締役 岡田 悦明 氏 (フェリー部担当・内航定期船舶担当補佐)	
	御船印の活用で船旅需要を高める	40
	●旅作家 小林 希 氏 (株式会社Office ひるね代表取締役)	
寄稿	救助契約の締結遅延問題に関わるHugh Shaw氏(元英国SOSREP)報告書について	42
	●東京海上日動火災保険株式会社 フェロー 兼 コマーシャル損害部専門部長 久保 治郎	

以下の定期シリーズも掲載しています。

波 濤 / 竣工船フラッシュ / せんきょう（日本船主協会） / CLOSE UP /
NEWS Pick Up / 造船ニュース / 研修講座・セミナーのご案内 / ブローカーの窓から /
内航ニュース / 新刊紹介 / 読者のひろば / 編集部だより / スタッフ通信

※所属・役職等は発行当時のものです。

ウェブサイトからも記事を検索いただけます。www.jseinc.org をご利用ください。

年間定期購読のご案内

KAIUN（海運）は1922年の創刊以来、100年を超えて広く
海事関連諸産業の方々にご愛読いただいております。

海運のみならず、造船、荷主、海上保険、マーケット、内航
など海事を取り巻く諸産業の現状や課題、展望、あるいはその
時々の業界トピックを中心に、第一線の実務家の皆様にご協力
いただきながら、皆様の業務にお役に立つ情報誌として企画・
編集に取り組んでおります。

購 読 料

年間購読料：12冊（月刊）

15,840円（税抜価格14,400円／送料込）

● 1冊からお求めいただけます。
1,320円（税抜価格1,200円／送料込）

【定期購読のお申し込みフォーム】

期 間 ・ 冊 数	年 月から1年間 / 毎月 冊
貴社名・部課名	貴社名 部課名
お 名 前	
ご 住 所	〒
ご 連 絡 先	TEL : FAX : E-mail : ※E-mailでお申し込みの際には、標題の欄に「KAIUN定期購読申し込み」とご記入ください。

お 申 し 込 み
お 問 い 合 わ せ

一般社団法人 日本海運集会所 総務グループ

TEL:03-5802-8361 FAX:03-5802-8371 E-mail:order@jseinc.org